

平成 25 年度県立広島大学学術講演会

「肉と魚の生食文化とリスク」

現代は、遺伝子組み換え商品や環境汚染、安価な輸入食品など、食の安全が大きな社会問題になっています。さらに牛肉の生レバーを食べた人が亡くなるなど従来の日本の食文化も見直されています。今回の学術講演会では内閣府食品安全委員会の委員を務められた食の安全のエキスパートをお招きして、生食文化の危険性についてお話頂きます。

講師 畑江 敬子

理学博士／昭和学院短期大学学長



経歴

昭和 38 年 お茶の水女子大学家政学部卒業。

昭和 57 年 同大学院家政学研究科修士課程修了。

その後、長年に渡りお茶の水女子大学家政学部にて助教授、教授等を歴任。

平成 18 年 和洋女子大学家政学部教授。お茶の水女子大学名誉教授、内閣府食品安全委員会委員

平成 23 年 同大学家政学部特任教授に就任の後、平成 24 年より現職。

日時：平成 25 年 11 月 8 日(金) 14：40～16：10

場所：県立広島大学庄原キャンパス大講義室 (2 号館 1 階)

遠隔：県立広島大学広島キャンパス 1239 講義室

聴講料：無料

申込方法：当日、直接会場へお越しください

お問合せ：庄原市七塚町 562 県立広島大学庄原キャンパス

庄原地域連携センター TEL&FAX：0824-74-1704

庄原キャンパス総務課 TEL：0824-74-1000

FAX：0824-74-0191

E-mail：gakuju@pu-hiroshima.ac.jp